

## 第21回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団報告書 団長挨拶

2017年11月28日から12月5日にかけて、第21回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日団一行34名は、日本での8日間の訪問を行いました。中国日本商会、日中経済協会そして訪問先の関係者の多大なるご支援ならびにご協力の下、代表団の訪日活動は無事そして円満に期待通りの成果をあげることができました。

今回の代表団は北京大学、北京師範大学、北京理工大学、北京第二外国語学院、華北電力大学、国際関係学院の優秀な学生により構成されています。日本滞在期間中、代表団は日本航空、パナソニックエコテクノロジーセンター、三菱電機名古屋製作所、日本電気、丸紅、みずほ銀行、ホテルニューオータニなどの有名企業の見学の他、大阪大学や中央大学の学生との友好交流、中華人民共和国駐日本国大使館への表敬訪問、孫中山・梅屋庄吉両氏の一生涯の友情の舞台となった松本楼への訪問、さらには中国日本商会各会員企業の従業員宅でのホームステイを行いました。学生等は今回の訪日交流を通じて日本企業の環境保全そして人工知能等分野での進んだ技術や「人間本位」の経営理念、また社会貢献の精神を学び、日本の青年たちと相互理解や友情を深め、日本の伝統文化や一般市民の生活を体験することができ、今後は日中友好事業に積極的に関わり、両国の友好に貢献をしたいと述べていました。団員らは充実した今回の8日間において、細かな観察や思考を通して様々な角度や側面から認識した日本について日記形式にまとめました。ここに団員らの日本訪問における思いを皆様へご紹介いたします。皆様にはこの報告書から、彼らの収穫や感動といったものを感じ取って頂ければ光栄に存じます。

「走近日企・感受日本」中国大学生訪日プロジェクトは2007年の開始から現在まですでに21回行われ、650名余りの中国の大学生が日本での交流を行いました。また2017年は日中国交正常化45周年、2018年には日中平和友好条約締結40周年を迎えます。本プロジェクトも第二期が終了し、第三期のプロジェクトが始まります。青年は日中友好における未来と希望です。日中両国の青年同士が手を携え、共に両国友好の使者そして架け橋となることを心から願っております。中日友好協会としましても、日本の各界の皆様と共に両国の青少年交流に力を注ぎ、日中友好事業の担い手を絶えず育成し、日中関係の発展をサポートしていく所存でございます。

最後に、今回の代表団の訪日に際して多大なるご支援を頂いた中国日本商会、日中経済協会及び関連各企業そしてホストファミリーの皆様へ、心より感謝申し上げます。

第21回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表団  
中日友好協会副秘書長  
程海波